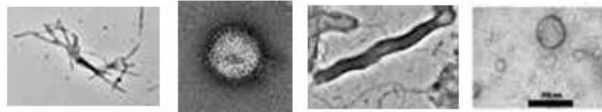


岐阜大学の先端研究機器の産業利用のすすめ

糖鎖分子科学研究センター・研究基盤部門 助教 鎌足 雄司

岐阜大学には、核磁気共鳴分光装置(NMR)、表面プラズモン共鳴(SPR)、透過電子顕微鏡(TEM)等の先端研究機器が整備され学内ユーザーへのサービスを提供している。空いているマシンタイムを産業利用に有効活用したいと考えている。岐阜大学の先端研究機器について、機器の紹介、応用例、外部利用のシステム等の紹介をしたい。

【岐阜大学の先端研究機器の例】



アミロイド線維、ウイルス、バクテリア、エクソソームなど



透過型電子顕微鏡 (TEM)

JEOL JEM-2100(EDX付)、日立 H-7000



走査型電子顕微鏡 (SEM)

日立S-4800(EDX付)、S-4300(EDX付)、S-3000N



X線光電子分析

アルバック・ファイ
Quanterra-SXM

無機材料表面の元素組成や
化学結合状態の分析



TG/DSC

熱分析／熱重量・
示差熱同時分析
NEXTA SeriesSTA3



X線

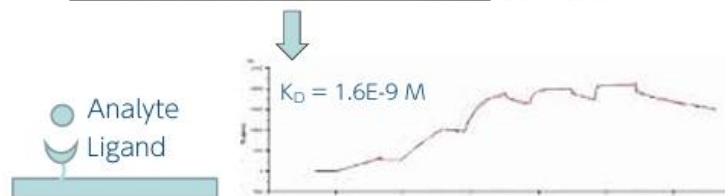
マイクロCTスキャン

東陽テクニカ SKYSCAN1172-GU



分子間 相互作用 解析装置

Biacore T200



質量分析装置 (MS)

島津 AXIMA-Resonance
(MALDI TOF)など5台

分光計



蛍光分光光度計
日本分光 FP-8600など多数



粒子径等 測定装置

マルバーン ゼータサイザーナノZSなど



アカデミア唯一の

防爆対応
GMP準拠

有機合成設備